

「掛川の生きものたちと風景」の 写真展 無事終了しました!!



令和6年8月9日(金)から22日(木)まで「パーティセト」において「掛川の風景と生きものたち」(掛川地域力向上委員会作製の本)の写真展を行いました。

連日の猛暑の中ご来場いただいた皆さまありがとうございました。

国の天然記念物である「オオサンショウウオ」が棲息する自然豊かな掛川地区を多くの方に知っていただく良い機会になったと思います。

掛川地域力向上委員会の皆さんが手作りした本の中から選りすぐりの写真を展示しました。



この写真展は、掛川地区の素晴らしい四季をその折々の写真で綴ったものです。

植物、動物、昆虫などとその時期に行われている風習、行事などを紹介しながらこの地区を知ってもらうためです。

掛川地区の豊かな自然、営みが十年後、二十年後、未永く続いていますように。

定光寺直入橋周辺の草刈り

令和6年7月13日（土）午前8時から定光寺直入橋周辺の草刈りを行いました。今年の夏は、連日の暑さでたいへんでしたが、無事草刈りを終えることができました。皆さんご苦労さまでした。



夏休み親子環境整備作業

令和6年8月18日（日）午前7時30分から掛川小学校において児童と保護者は草取り、地域の有志の方々（両自治会）、掛川地域力向上委員会の方々が草刈りを行いました。暑い中なので、時間を決めて集中して行なわれました。



かけがわっ子ひろば便り

暑かった夏も終わり秋の気配がありがたいこの頃…地域の皆さまには日頃よりかけがわっ子ひろばの活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。夏休みの子どもたちは暑さにも負けずに元気いっぱい走り回っています。学校の音楽室を利用させてもらえるので、汗をかいても快適に過ごさせています。午前中はプールやシャボン玉遊びをして、午後はたくさんのイベントに参加しました。夏休みの様子をご紹介します。平日は14:30~17:30開所していますのでぜひかけがわっ子ひろばへ遊びに来てください。



木工教室



プール遊び



クレープ作り



シャボン玉遊び



ストップ温暖化教室



蛇ヶ洞川遊び



自然観察の旅 10日間のマダガスカル

富田 彪

<憧れのマダガスカルへ>

アジスアベバ空港を
発ってしばらくすると
座席前のGPSモニター
画面にナイロビ上空を
通過中の表示が出た。



ケニヤ上空から見たキリマンジャロ



眼下のマダガスカル島北西部海岸

とっさに眼下を眺めた。ケニアとタンザニアの国境付近に差し掛かると雲間に独立峰が見えてきた。キリマンジャロだ。標高5,895mのキボ峰とともに5,149mのマウエンジ峰もよく見える。ほぼ赤道直下にもかかわらず真っ白な雪を抱いている。実に美しい。

モザンビーク海峡を越えると飛行機は高度を下げ赤茶けたマダガスカルの大地が迫ってきた。間もなく首都のアンタナナリボに到着。翌日はアンタナナリボからマダガスカル北端のアンツィラナナへ飛んだ。ここから4WDでアンカラナへと南下、途中でアンバー山国立公園に立ち寄った。ここの熱帯多雨林で最初に出迎えてくれたのはバンブーキツネザルの群れ、次いで小型のカメレオンに何度も遭遇。そしてガイドのRichardも2回ほどしか



小型のカメレオン



ジャコウネコのなかま

見ていないという珍しいジャコウネコの仲間が日向ぼっこしているのに出会った。こうしてマダガスカルの旅が始まった。

<マダガスカルの自然>

マダガスカル北部では石灰岩の浸食地ツィンギーを訪問。石灰岩が何万年にも及ぶ風雨や熱によって侵され、剃刀のよう



ツィンギー



レッドツィンギー

刀のように鋭く削られてできた特異な景観が広がっている。ここでの植物相はハナキリンやパキポディウムのなかまなどで構成される貧弱なものであった。ディエゴ・スアレス近郊にはこれとは別にレッドツィンギーと呼ばれる特異な地形が見られる。鉄分の多い赤土の台地が浸食され、それはまるで赤い針山地獄のようだ。ツィンギーにたどり着く前に立ち寄ったサバナナ地帯ではアフリカマイマイの殻をいくつか見た。世界最大の陸貝である。



アフリカマイマイ

<キツネザルのなかま>

北部のアンカラナを後に次は東部熱帯多雨林地帯ペリネを訪れた。ここでは非常に多くの種類のキツネザルを観察することができた。



ベローシファカ



チャイロキツネザル



人に近寄ってきたエリマキキツネザル



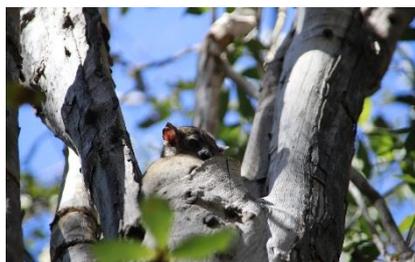
インドリ



ワオキツネザル



肩にのっかってきたアカビタイキツネザルとワオキツネザル



樹洞から顔を出したイタチキツネザル



夜行性のネズミキツネザル



バンブーキツネザル

ベローシファカは映像でもよく見る横っ飛びで移動するキツネザル。インドリは現存するキツネザルの中で最大とされ、歌を歌うようなきれいな鳴き声が特徴。ペリネ自然保護区ではその鳴き声が森の中で響き渡っていた。ネズミキツネザルはナイトツアーで見た夜行性の小型のキツネザルで名のとおり小さなネズミくらいの大きさである。

ワオキツネザルとアカビタイキツネザルは西部キリンディの Kimony Resort のロッジで撮影した。
(次号に続く)

「掛川ナイトツアー」盛況でした!!

7月27日(土)掛川小学校にて掛川ナイトツアーを開催しました。掛川小学校の周りの山林にある古道の整備を進める中で四季折々、木漏れ日の中を歩くのも楽しいけれど夕暮れの古道を歩いてみたらどんな感じなんだろう?と思い、地域の有志の方々、掛川小学校在校生、卒業生と保護者の方、掛川小学校に興味を持って下さる親子さん総勢約70名の方々に参加していただきました。

夕暮れの古道は昼間の雰囲気とは違って、何だかワクワク、暗闇に何かが潜んでいそうでちょっとドキドキ!子供たちのテンションも上がります!

途中でバナナで作った虫トラップが仕掛けてありどんな虫が集まるか観察したり、在校生の保護者からのご紹介で名古屋昆虫同好会の方が白い布に光を当てた虫トラップを設置して下さい、いろいろな虫の観察が出来ました。そのおかげもあってセミの羽化の瞬間も見る事が出来ました。

古道を歩いた後、マッシュマロを焼いて食べたり、地域の方からの差し入れの大きなスイカを食べたり、掛川ナイトツアー、大人も子供も夏の楽しい思い出が出来たと思います。

